

製品仕様

名称	FJ3	
型式	ATJ(エーティージェイ)	
適用ドア重量(kg)	80Kgドア1枚 ^{*1}	70kgドア2枚 ^{*1}
適用ドア幅:DW(mm)	650~1250	
対応縦横比率(縦:横)	Max.4:1	
電源電圧	AC 100V 5A	
最大使用可能風速	15m/sec	



国内安全規格「JISA4722」に対応した新型自動ドア装置
「Bluetooth®通信機能」*2を標準搭載。

※1 素材の仕様により変わります。

※2 Bluetooth®はBluetooth SIG, Inc.が所有する商標登録で、日本自動ドア株式会社はライセンスに基づいて使用しています。2018年6月現在。

ご案内

「JIS A 4722 歩行者用自動ドアセット」に対応するには自動ドア装置以外にドア、サッシ、ガラスなどの建具もその仕様に準拠する必要があります。

保守点検のお願い

「JIS A 4722 歩行者用自動ドアセット」の性能を常に維持するために保守点検をおすすめします。弊社ではお客様の使用状況に応じて様々な保守契約プランをご用意しております。保守契約についての詳細は弊社営業担当にお問い合わせ下さい。

商品のお求め・お問い合わせは



製造・販売元

日本自動ドア株式会社
〒165-0031 東京都中野区上鷲宮 3-16-5
<http://www.jad.co.jp>

 **0120-210-984**

2019.10



自動ドアを通じて、人類社会に貢献する企業

www.jad.co.jp

JAD 木製建具

JAD Wooden Automatic door

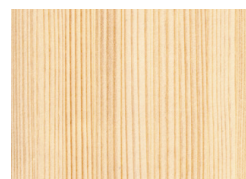


西川材を使用した自動ドア

不燃・準不燃適合天然木極薄壁紙

西川材

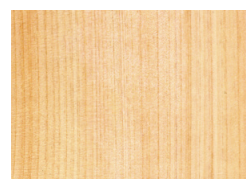
- ・降雪は年3~4回と少ないため倒木などの心配もなく手入れがしやすい。また適度に寒暖のある気候が、スギやヒノキの育成に適しており、建築材料としての強度のある材が生まれる。
- ・植林時は、上方向に成長を促すため、密集させて植え、そのなかからいい材を残し、太くしていく。
- ・「枝打ち」については、5~6年生から始め、4m打ち上げるまでに3回程度、その後も2~3回程度の枝打ちを行い、無節の優良木材の生産を行っている。
- ・「立て木」という方法で、1ヘクタール(1万m²)に10本から15本程度を残し、100~200年もの長期にわたり保存育成しているため、大径木が残っている。これは、地元の大径木の需要や不時の出費に備えるものである。
- ・スギの一般的なヤング係数はE70、西川材は同E80~90と強度が高い。



杉板目 (スギマサメ)



杉板目 (スギイタメ)



檜板目 (ヒノキマサメ)

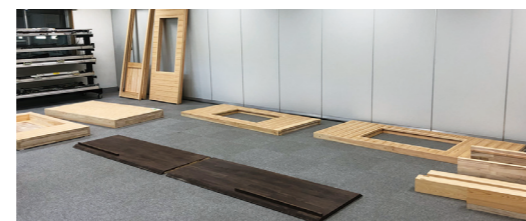


檜板目 (ヒノキイタメ)

組み立てやすく、無駄がない

木製パーツを組み立てて自動ドアを作成。最短約2時間*程度で組み立てが完成。表面加工を施し、耐用年数も考慮した設計になっています。

*木製パーツのみ組み立てを行った場合。エンジン設置等の工程は含まれておりません。



自動ドアが似合わなかった場所にも馴染みやすい木の素材

いままで自動ドアがどうしても馴染まなかったこだわりの店舗など、木製の自動ドアにすることで、自社のブランドや店舗のイメージなどを損なうことなく、お客様の利便性も向上できるのではないのでしょうか。

ワンストップ循環サイクル

山を再生し、酸素を増やし二酸化炭素を減らす。

自社で管理している山から木材を使用し、製品化から販売まで一貫した「ワンストップ循環サイクル」を実現。管理されていない山が多々ある中で、効率的に管理/製造を行うことで、豊かな緑を持続可能にすることに貢献しています。

